

下痢

【①単一症候性下痢②急性消化不良性症③急性胃腸炎】

子どもはよく下痢をします。なんでもないものから重症のものまで下痢にもいろいろあります。

①単一症候性下痢

下痢以外に何の異常もみられない、もっとも軽いタイプです。母乳の乳児によくみられ、機嫌もよく、食欲もあり、体重増加も順調です。特別な治療は必要ありません。

②急性消化不良性症

からだの調子を崩す何らかの原因があっておきる下痢で、他にいろいろな症状をとまっています。すっぱいにおいや腐ったにおいの便が特徴で、元気がなく、食欲も進まず、機嫌も悪く、眠りも浅く、ぐずってばかりいます。下痢で水分が失われるので水分補給を心がけ、お医者さんの診察を受けましょう。

③急性胃腸炎

1歳をすぎるところからは、急性胃腸炎という病名がつけられ、下痢と嘔吐という胃腸症状だけが目立ちます。

[その他の症状]

消化不良性中毒症

もっとも激しい下痢で激しい嘔吐を伴い、吐いたものに血が混じっていることもあります。意識障害やけいれん、ショック状態をひきおこし、命に危険が及ぶこともあるので、緊急に入院治療が必要です。